

前回WGにおける指摘事項について

- 戸開走行保護装置の大臣認定取得に向けたグループを作って検討を行っているが、開発費用が一番の問題となっている。(エレベーター保守事業協同組合)
- 既設エレベーターに戸開走行保護装置を設置するにあたり、費用と工期が問題となっているが、特にエレベーターが1基しかないマンションやビルが問題である。(JEMAエレベーターメンテナンス事業協同組合、日本ビルディング協会連合会)
- 既設エレベーターについて、現在どのような戸開走行保護装置が設置できるのか分かるようにしてほしい。(国土交通省大臣官房官庁営繕部)
- 学校は長期休暇があることやエレベーターを複数台設置しているところが多いことから、改修工事の工期が戸開走行保護装置の設置の阻害要因となることはほとんどないと考えられる。(東京大学)
- 病院は基本的に診療報酬のみで成り立っており、予算を組んで施設の整備を行うことは難しい。(日本病院会)
- コストやエレベーターの停止等の阻害要因を解決させて何とか安全装置を設置したとしても、既存不適格が解消されないのであれば、設置に対するインセンティブが働かないという意見がある。(WG委員)
- エレベーターの安全性については基準の改正ごとに向上していくものであるが、所有者等がエレベーターに対してより高い安全性を持たせようとするアイデアはないか。(WG委員)